

## H29.1.19 子ども・子育て会議

### 【事務局】

平成28年度第2回総社市子ども・子育て会議を開催いたします。委員の皆様方におかれましては、ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。開会にあたりまして、片岡総社市長よりご挨拶申し上げます。

### 【市長】

皆様こんにちは。お集まりいただきありがとうございます。全国屈指の福祉先駆都市を創っていくことの中で、子どもに対する環境、子ども本位で子育て王国をさらに充実させて全国屈指にさせていくということを皆様と協議をしながら進めてまいりたいと思います。

今日、資料をこれから説明しますけれども、子育て関連予算というのは莫大にかかるものでありまして、当たり前と言えども、そのあたりの持ち出し感というのも、この会議では脇において話し合うべきではないかと思ひ、今日はあえて事務局の方に年間どれくらいかかっているか、ということをお客様と共有できるように作ってもらいました。これからさらに新しい保育園であるとか認定こども園を新設するという事で、20億を超え、25億になってまいります。この資料全体が、やれ待機児が大変、ということで待機児童解消のためにすごくいい資料ができていますが、それに加えて、今後の子どもの数が増えて行く見通しも勘案しながら今後待機児童が33人いますけれども、それを0にしていくということは、非常に重要な課題であります。どうでしょうか？いつまでもこれが続くでしょうか。やれ（園を）増やせ、造れでいいか、ということもあるのでそのあたりも含めてご協議願っています。さらには、本来の、子ども・子育て会議の1回目で話をしてもらったが、将来的に総社市はどういう子どもを育てていくのか、その内容についてインフラ整備ばかりではなく、総社市教育大綱というのがあって、総社を愛す子供、心優しい子供、礼儀正しい子供と言っていますが、それを就学前の子どもたちに求めても無理があるかと思ひます。やはり今日は保育協議会の服部会長もおいででございますがオール総社で就学前の子どもたち、どういった子どもを育てて行くのかというある統一目標と考え方があって然りなのではないかと思ひます。その内容の高揚が全体的な全市の「子育て王国」につながっていくと思ひます。そこでみなさんの知恵をお出しいただきたいと思ひます。

ちょっと振り返ってみると、私が市長になって9年目になりますが、いつの間にか「子育て王国そうじゃ」という言葉ができあがりました。これは実は私が作った言葉ではありません。私がやろうとしていたことに名前をつけたのが当時の山陽新聞の紙面でありました。それが一人歩きするようになって「子育て王国そうじゃ」ということになりました。その時なぜ「子育て王国そうじゃ」だったかという、つどいの広場とか優先的に保育にかける子をフォローするやり方であるとか、ファミリーサポートセンターであるとか、手厚く地域でやろうとしていて、短絡的に小学校6年生まで医療費無料化というのを、県南の主

要都市で初めてやったのが総社市だったので、「子育て王国そうじゃ」が一人歩きをした。その結果、子育てしやすいからと言うことで転入者が増えるようになってきました。今、更に医療費無料化をどうするか。もう今はどこの市もそうなっていますが、そういうものではなくて新たに「子育て王国そうじゃ」の主要政策というのは何なのか。ということをもう一度ひも解いて考えて作って行く。待機児童も必要最低課題でありますし、インフラ整備は大事なことですが、さらにそこを深めていく議論になっていけばありがたいと思います。今も68,276人（H29.1.末）過去最大人口です。昭和26年に総社市が発足して昭和地区と合併し、山手地区、清音地区と合併し、増えたり減ったりしながら68,000人を超えられなかったのですが、68,200人ぐらいになっている。どういう傾向かという、死者が出生数より約150人多いということです。転入者が転出者より約350人多いということで350引く150は200。200人ずつ人口が増えているわけです。その転入者の一番多いのが、以前は高梁市とか吉備中央町でしたが、実は現在入ってくる一番多い地域は倉敷市です。人口が増えればいいというものではありませんが、倉敷市の方が、総社市に求めてきたものの一つに、子育てがしやすいから、という理由を言われる方がたくさんおられます。本当にそうなのかと思ってしまうのですが、底の部分をもっと強固にしていくということをやテーマとしながら議論をしていただきたいと思います。少し長くなりましたがどうぞよろしくお願いいたします。

### 【事務局】

ありがとうございました。

続きまして、この度、12月の民生委員児童委員の改選に伴い、新しく子ども・子育て会議の委員になられた方を御紹介いたします。

総社市民生委員児童委員協議会 角田ヒロミ委員です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、協議に入りたいと思います。議事の進行を近藤会長にお願いいたします。

### 【近藤会長】

今日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

今日の議題はお手元にありますように保育所、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブについてですが、保育園と幼稚園が合併して認定こども園になるというテーマです。先ほど市長様から「財政のことも考えて！」と言われていましたが、今の日本のGDP費に占める子ども子育て関連予算というのはだいたい2%ぐらいですが、先進諸国のうち子ども関連で非常にうまくいっている国というのがスウェーデンとイギリスとかフランスを挙げることができますが、スウェーデンとかイギリスなんかはだいたいその値が4%を占めていて、フランスも前は4%ぐらいだったのですが少し下がってきて3%ぐらいになっています。ということで地方自治体の財政事情は厳しいものがあると思いますが、本当に先進諸国のよう

に子ども子育て関連サービスを充実させていこうと思ったら、日本もこのパーセンテージが上がっていかないといけないと思っています。

それから、多くの学者たちがこの少子化を乗り越えるためには4%ぐらい占めないといけないとおっしゃっています。そういう中で総社はどうしていくか、考える必要があると思います。つまり財源は決められているので、どこに財源を投資するかという判断であると思っております。先ほどハードの部分だけではなく、ソフトの部分も考えてくださいということでしたが、まさにそうだと思います。保育所が足りないからいっぱい造って行くという話はあるのですが、やはりソフトの部分も考えていかなければいけなくて、ちょっと私が日ごろから思っていることといたしましては、就学前の子どもの教育のプランみたいなものを総社市独自で作ったらいいのではないかと考えております。県のレベルで自治体の中には、就学前の子どもの特化した教育プランというものもだんだん作られ始めているようです。市のレベルでもそういうものがあるかと思っております。ちょっと長くなりましたが、今日はよろしくお願ひします。

#### 【事務局】

\*\*\*資料を説明\*\*\*

- 1 施設状況について
- 2 保育士確保方策について
- 3 認定こども園について
- 4 放課後児童クラブの状況について

#### 【近藤会長】

以上事務局からの説明でしたが、御意見、御質問はございませんか？一応、就学前の保育・教育については、待機児童解消となっておりますが、9ページにありますように解消といっても枠があまりないとか、定員109%入れての計算ですので危うい状態にあってすぐに待機児童が出てしまうかなという懸念が少々あります。それから放課後児童クラブにつきましては、15人の定員不足ということで20ページにかかれてあります。定員超過ということで書かれています。また、保育士不足の件ですとか、支援員さんの不足についてのケアが今後日本でも社会問題となっておりますので、総社市でもますます考えていかなければいけない課題だと思っております。いかがでしょうか？

#### 【服部委員】

市長様に御越しいただき、総社市の人口増、人口状態についていろいろおっしゃいました。毎年生まれる子どもの数、総社市で生まれる子どもの数、これは大体560人ぐらいです。あとは市長がおっしゃいましたようにあっちこっちから入ってくる。商工会議所事務局の方がおられますが、いわゆる世の中の景気の動向が不安定な街であります。総社市は。子ど

もが総社市で生まれるのが一定数で変わらない。そこを保育協議会としては、問題視という心配をしているのであります。待機児童が 0 になる。一生懸命保育協議会としても市の方針に従いまして、協力をして 115%までいく。保育士に荷がかかっている。安全第一ですから、それで保育所を新設なり定員を増やしたり、認定こども園をして保育部分をどのようにするか、動向をみながら公立の定員を考えて行く、というような課長のお話でありましたが、本当のところは非常に心配をしている。平成 29 年 4 月 1 日もどのようになるかわかりませんが、0 になるのかマイナスになるのかわからないという。120 人の増と、今まで 115%みていた各保育園が、定員でその待機児童を計算するのか、115%で計算するのか…。その待機児童の計算の仕方も全国统一ができていません。そこらへんが私どもといたしましては、保育士を雇う目標といたしますか、何人雇ったらいいのか。経営が安定するのか。保育が安定するのかが 4 月 1 日までわからない。できるだけ言っていただいて、日本国中の保育士不足で「うちに来てくれたら 30 万円就職手当を出す」とかいうようなところまであるので、そういう中での求人を一生涯やっていくわけですから、早め早めに各保育園にきっちりした数字をいっていただかなければ安定した保育園ができない。保育園は保育所保育指針で 0 歳が何人、5 歳が何人ときっちり決まっている。そこら辺が私たちの心配の種です。今年はややく 0 になる。マイナスになるのではないか。課長はマイナスになりませんが、と言われますが、これは市の産業がどのようになっていくのか、倉敷からどれだけ人が転入してくるとか、世の中の景気によって違ってきます。市長はそういつて帰られた。だから心配をしている。そういう心配がないような、保育所の待機児童の解消を考えていただきたい。ということをお尋ねしておきます。

#### 【近藤会長】

このことについていかがでしょうか。

#### 【事務局】

保育所の皆様には子どもを毎日預かっていただき感謝しております。今、保育の希望者がとても増えているということで、いろいろご協力をいただいているところですが、先ほどにもありました、新しい保育所が建ち、みどり保育園も 30 名増員ということで全体の受け皿は増えてきたところですが、しかし、先ほど申し上げましたとおり、今現在まだまだ希望者数は増えてきております。入所率が 115%とか、最終的には 127%になると先ほどご説明しましたが、定員が 90 名定員であるとか、120 名定員に対しての定員でございますので、部屋面積の余裕がある場合ですとか保育士さんの問題もございませぬけれども、できるだけ定員のほうを変えていただきたいと思います。また、市と保育所との利用調整につきましては、いろんな情報を保育所のほうにもなるべく早い時期にご説明したいと思っております。それぞれの保育所とコンタクトをとらないといけませんので、それも丁寧にしていききたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。これから、

認定こども園をつくる方向になっておりますけれども、定員につきましては、これからの保育定員の増加等をみながら決めていきたいと思っております。どこの地区もそうだと思いますが、最終的には子どもは少しずつ減って行く状況になるので、保育所を運営されている方はとても心配なさっていることと思います。市としましては、保育の人員が減ったときには、公立保育所や認定こども園で最終的には調整してまいりたいと思っておりますので、連携をとって、よろしくお願いします。以上でございます。

**【服部委員】**

5 ページの待機児童 32 名、この理由を聞かせてください。待機児童の考え方、なぜ 32 名待っているのかその訳をお尋ねします。

**【事務局】**

こちらの待機児童 32 名と言うのは、現在調整中の方が 28 名と求職中、お勤めはしていないが仕事を探されている方が 4 名入った 32 名です。

**【服部委員】**

今、総社市は、保育所を限定して待っている人も待機児童にいれていますか？

**【事務局】**

この 32 人の中には入っていません。

**【服部委員】**

待機児童の定義は総社市ではどのようになっているのか？

**【事務局】**

定義は、お勤めの方、保育所に預けることができる方といいますか、保育所を必要とされている方がまずおられ、この方が調整中ということで待機児童の中に入ります。もう 1 つは求職中、仕事を探されている方、求職活動をされている方、この方は待機児童に入ります。

一方、「この保育所でないといけない。」と保育所限定という方は、待機児童の数には含めておりません。また、現在 1 月ですが 3 月までに入られる予定の方もおられます。しかし、その方たちは保育所がいっぱいで入れないとすると、この方たちも待機児童となります。ですから、総社市で待機児童といっているのは、現在お勤めであって調整中の方と、求職中の方となります。これは国の制度に基づいてこの数字を出しております。待機児童の定義につきましては最近新聞などにも載っておりますが、考え方が変わってくる可能性もあります。育児休業中につきましても、この間新聞に載っておりましたが、保育所に入れないうえに育児休業を延ばす方がおられますが、そういう場合は待機児童に入れましょう、とありま

した。年々、待機児童の定義が変わっておりますので総社市は国に準じてという形でさせていただきます。以上でございます。

#### 【服部委員】

副市長さんへ総社市は 68, 200 人、総社市発足以来最高の人口で推移していると市長さんはおっしゃいました。今後の総社の人口のピラミッドはどうなるのかどのような考えを持っておられるのか、特に 0 歳から 15 歳までのいわゆる子ども（児童、乳幼児）の動向を総社市としてどのようにとらえているのか。大概でよろしいのでお尋ねします。

#### 【副市長】

こんにちは。総社市副市長田中でございます。第二次総合計画、この 10 年間の総社のまちづくりに総社全体をどうするかという基本的な計画の初年度になっておりますが、そこでの人口がどうなるかという話をさせていただくとして、市長が 150 人増えると言っていますが、10 年後に 69, 000 人を目指させるようにしていこうとしている。市長が言っている社会増 150 人不足、外から来られる転入者を含めて 100 人、年間来ていただければ 10 年間で人口は全国的に減っておりますが達成できるのではないかと 10 年間の目標をたてております。その 1 年目に突入しているわけです。10 年間の計画ですので、もちろん、あたりはずれはありますから、毎年 PDCA サイクルで見直しながら地に足の着いた計画目標を基にやっていきたいと思っております。子どもたちも先ほども申し上げたとおり、少しずつ増えていくとみています。30 年後とか 50 年後というスパンになりますと、全国的に人口減少してきますから総社市も減っていくとは思いますが、まず 10 年間目標としては、それぐらいの目標で市政運営を進めているのが現状でございます。

#### 【服部委員】

0 歳からの 15 歳ぐらいまでの人口の動向はどのようにして増えていくのか。

#### 【副市長】

0 歳から 15 歳までの人口は少しずつ増えると思っております。10 年間ですね。何度も言いますがこれが 30 年後とか、50 年スパンになりますと減ると思えます。この直近 10 年であれば、少しずつ増えていくであろうと思っております。

#### 【近藤会長】

副市長様がおっしゃったように 10 年間のことはある程度わかるということで、子どもの数、保育所を利用している子どもの数というのは公立の保育所や認定こども園で調整していくということなので、御了承いただければと思います。他にいかがでしょうか。何かいいアイデアとか保育士不足とか支援不足についていいアイデアがございましたら、また今日

一番の論点は新たな認定こども園をつくるということでもあるのですが。

### 【山本委員】

私、公募委員を辞めたいです。ずっと思っていたんですが、公募委員って何だろうって。資料をみて、数字をきいて、私も意見を言っても、それは理想だろ！と聞き流されて、この会議に参加することがとてもつらいです。みなさんはとても良い肩書きを持ってらっしゃって、後ろに守るものもあって、その立場でしゃべれるんですけど、私は何もないんです。だからしゃべれないのかな、と思ったんですけど、逆にトランプでもババ、ジャックカード、何の役にも立たないですけど、何もないから最強かもしれないと思って、今日は思いっきりしゃべろうかなと思って来ました。

まず、待機人数とか量とか数字を見たところで、ふ〜んって思うんですけど、今日市長さんが質を、メンタル部分を、ハードではなくてソフト面をこれからやっていきたい、と言われたのを聞いて、あ、それ今日私が言いに来たと思ったんです。私たち、箱はいりません。子どもをただのこの施設に入れますというバカな親じゃありません。私は後ろに何もないって言ったんですけど子どもはいます。今、中学校で不登校などの問題がある中で、就学前の子どもたちにこんなにフィーチャーしてくださるのは、ありがたいんですけど理想と現実の差が開いてきているのを感じます。さっきから待機人数がどうかこうとか言っているんですけど、その中身はどうなんですかねって思います。よく、アンケートが来るんですけど幼稚園とかテレビを何時間見させますか、というのが来て小学校も来るって言っていたんですけど、そこに2時間って書いたら、「多いです。」って書いているんです。でも、私の知っているママさんの行かせている保育園は、「ずっと部屋の中に入れてさせているよ。」って外遊びもさせてくれないから、疲れて帰ってこなくて、逆に、母が働いて5時ぐらいに迎えに行った時、子どもは元気だから、そこから6時半ぐらいまで外遊びに付き合っています。これはどうなんですかね。ソフト面をもっと向上させてほしいなと思います。ほんと理想を言うしかないんですけど、私が言わないと、言い続けていかないと変わらないかなと思って今日は言わせてもらいました。

また、待機児童の保育所を限定する人はなんで入れないのかな、と思います。保育所に入らせるのに、どこでもいいと言うお母さんはいるとは思うんですけど、少人数少数派のお母さんたちは、一生懸命子どもをつれて保育園を見て回って、方針をきいて、ここの保育園は私の子どもに合っている、家庭の方針と似ている、というところで入りたいというお母さんもいると思います。私も、市役所に行って、紙をもらってきましたが、第1第2第3って書いてあるだけです。理由を書かないんです。他の倉敷や岡山はどうしてこの園を選びましたかを書くのですが、そこで、しっかり書いた人は、そこに入ったって言うのを聞いたんですが、総社市は書いただけで、「家から近いから第1ですね。」で行けることになった。それでは、なんか努力が報われないなということを感じました。

あと、保育士の確保を言われていますが、幼稚園の先生はどうでしょうか。幼保一体を目指しているんですけど、うちの子は幼稚園に行っています。ありがたいことに外遊びもた

くさんしてもらって、毎日、楽しい楽しいと言って帰ってきます。家に帰ってから幼稚園の続きの遊びをしています。それだけ一本筋の通った生活をしてもらっていて、とてもありがたいです。そういったことをしてもらえる先生が増えたらいいなと思います。私も実は幼稚園の先生をさせてもらっていました。総社市でも臨時の非常勤講師ですけど2年したんです。でも、とても大変でした。8時から5時の間ですけど、そんな甘いものじゃなかったです。ブラック企業ですよ。安い給料なのに、と思って。手取りでいくらだと思いますか。13万ぐらいですよ。8月には1回切られるんですよ。園児がいらないから。先生必要ないでしょ。いう感じです。そんな中で、9月から再開するんですが、9月には運動会があるんですが、その運動会は毎日毎日子どもと一生懸命して、帰ってから作り物とかいろいろして、すごいへとへとになっているのに、給料明細をみたら8万円とかですよ。とても悲しい。でも先生たちは子どもの前ではにこにこしています。保育園の先生だって同じです。何をプラスにがんばっているかといったら、やっぱり子どもの成長をみられるから、この職に就いていう人が多いので、だからその人たちも報われるような、そうすると質の高い保育もできて子育て王国そうじゃが盛り上がるんじゃないかなと思います。具体的な案も出なくて長々と言ってすみません。

#### 【近藤会長】

貴重なご意見ありがとうございます。そういった意見を出していただいたほうが、とてもいいと思います。ちょっと私が考えていることは、ワンプロア化が可能になりましたよね。次の目標をこの会議で考えてもいいのかなというふうに思っています。次の目標の1つとして前からあがっていましたが、特に困難を抱えた子どもたちの居場所作りみたいなところでいろいろな子どもたちに、いろんなことを、いろんなプログラムとか、いろんなケアとか、提供できる居場所みたいなのを考えてもいいかと思っています。先ほどおっしゃっていた不登校の子どもたちもその対象の中に入ると思いますが。

それから2点目、保育所幼稚園間の保育教育の格差の問題は、実は総社市だけでなく、全国的な問題だと思います。保育の質とか教育の格差をどのように解消していくかということを考えていくべきで、先ほどちょっと私が就学前の子どもたちの教育プランと言ったのはこのこととも関わるようなことだと思っています。

保育所の選択のことですか、幼稚園の教諭とか保育所の保育士さんの労働環境の問題をご指摘いただいたと思います。先に私のほうからご意見させていただきましたが、いかがでしょうか。事務局のほうから。

#### 【事務局】

まず、申し込みのことですが、第1、第2、第3希望まで書いていただいて、総社市はそれだけだということで、他の市がどういう内容なのか、こちらのほうで把握ができておりませんので、他の市でもそういうことがあるのなら、総社市でも検討していきたいと思ってお



ります。ありがとうございました。総社市では書いていただくところはありませんが、聞き取りを十分に行って、要望を聞きお話をさせていただいていると思いますが、そういう風に書いていただければ、最初にわかるということでもとても良いことだと思います。

幼稚園の教諭についてでございます。保育士同様、保育・教育現場で一生懸命がんばっていただいているのはもちろん承知しております。子どもたちがとても喜んで通っているというのを聞いてうれしく思います。幼稚園につきましては、幼稚園がすべて公立ということで、その確保策を、今までにこの会議で出してないところが現状でございます。

幼稚園は幼稚園で今後のことを考えていろいろ施策を考えているところでございますので、またお伝えできたらと思っております。ありがとうございます。

あともう1つ、保育所との教育の格差につきましては先ほどお話がございましたが、幼稚園も保育園も子どもを大切に育てていく場でございます。その中で公立私立とありますけれども、最近では保育園、認定こども園、幼稚園、小学校の連携でありますとか、前に比べ接点が増えてまいりました。今後は、合同の研修会も行っているところですが、もっともっと話し合いの場を設け、総社市の子育て現場がよくなりますよう一緒に考えてまいりたいと思います。

#### 【近藤会長】

山本様の貴重な意見に対しまして他のご意見はございませんか。

#### 【教育長】

ありがとうございます。おっしゃるとおり現場の生の声ということで、すごい心に響きました。確におっしゃるとおり、今、保育士、幼稚園教諭の先生方の善意に頼っている部分がかかなり多いと思います。そういうことばかりやっているとダメだと思います。公立保育所でも今非常勤職員が集まらなくなっています。端的に言いますと認定こども園では5名、6名不足している。集まらない。他へ抜けたと。なぜかという待遇が悪いといひます。多分、もうそういう時代になったんだと思いますね。ソフトだけでなくそういう処遇面も含めてやらないと後手を踏むと集まらなくなる。そういう危機感を持っています。端的に申し上げますと、認定こども園に定員どおりの子どもを入れられない。ですから、先ほど申し上げたようなことは先手を打たないと、もっとひどいことになっていくなと思っています。

それから、保育園、幼稚園教育の格差、これは確かにあると思います。どういう園にして解消しようと思っているかといいますと、今は国が言っている接続プログラム、これを幼稚園保育園、小学校で一緒になって作っていく。なかなか難しいですけれども、保育所は行く小学校がちがいますから、それでもある程度それをやるということ、市の研修をやっているのですが、それにできるだけ来ていただくよう招待したいということ。中学校区で幼稚園、小学校、中学校に保育園を入れて1つのプログラムといいますか、集まって連続的に教育ができるように、先生方のコミュニケーションを図るということ、ここ数年のうちに少しずつ

つ始めています。例えば、東中学校ですと保育所、幼稚園、小学校で何回か集まっています。校長先生も、先生方も集まっています。ミーティングも少しずつ増えてきている。中学校区ごとにいろいろなテーマを挙げて検討していただいて、それに少しフリーのお金を出すことをやっています。そういうことをやることによって事前に先生方の情報交換ができる。そういう風なお金も必要ですが、ソフトに先生方の会う時間を作って情報交換できるように思っています。我々の範囲だけですけれども・・・。

放課後は、子どもは同じですから、放課後児童クラブでいろいろサポートしていただいている方々とも、連携をしていかないといけないと認識しています。とにかくがんばってやりますので、ありがとうございます。

### 【近藤会長】

実は、教育委員会が保育のほうも幼稚園の方も管轄するようになって一体的に管轄できるようになったので、今後一層連携しながらうまくやっていけるのでは、と思っています。期待しております。他にいかがでしょうか。

### 【浅野委員】

幼稚園保育園長会の浅野です。総社幼稚園に勤めております。先ほど山本さんから幼稚園の職員の処遇についてのお話をいただきました。ありがとうございます。正規の職員は総社市の職員ですから守られていると思うんですが、幼稚園の中でも臨時職員は本当に今いわれたようにブラック企業と、本当に耳の痛い話なんですけれども、個人の努力で本当に子どもたちのためにがんばっているというところですので、保育所も一緒だと思うんですけれども臨時職員の処遇というのを考えていただけたら・・・実際には毎年少しずつ良くなっていて市教委の方にも考えていただいているところなんですけど、まだまだ改善していかなければいけないところもあると思います。ありがとうございます。待機児童の話もありましたが、待機児童の問題は本当に難しいと思ひまして、私も0になるのかな、と思っています。保育所とか幼稚園の施設のこと、入れ物のことだけを考えてはやっぱりなくならないのではないかと思います。私事を言って大変申し訳ないのですが、私は倉敷市に住んでおひまして、倉敷市民で地域の愛育委員をしています。一昨日、その愛育委員会がありまして、育児で孤立している母親が多いと。そこでボランティアとして赤ちゃんを抱っこしにきてくれませんか。というようなお話もあつたんです。私でも赤ちゃんを抱くぐらいはできるかなと、それぞれ地域の方でもいろいろな力を持っておられるのでそういう力を借りられるようなつながりを市のほうで作っていただくとか、というようなことが必要なかなと思ひます。

幼稚園の立場としましては、平成28年度から預かり保育の実施園を増やすとか、3歳児の預かり保育を始めたり、長期休暇中もあずかったりとか働くお母さんが増えてきました。そのあたりでも手助けになっているのかなと思ひますが、子どもの立場からみますと、3歳

児というのは、お正月 1 月 4 日から子どもは来ておりました。寒い寒いといって泣くのですが、心が寂しいかなという風に感じました。みんなではないのですが、寂しくて寒い寒いと泣く子がいます。それから、今は日が暮れるのが早いです。5:00 を過ぎますと暗くなります。お迎えが遅くなりますと、お母さんが来るとお母さんに抱きついて離れない。お母さんもそれをわかっていてしっかり受け止めてくださっているけれども、本当は家庭と幼稚園（施設）と両方が必要であってうまく 1 対 1 での受け入れをしなければいけない。集団生活も必要ですけれども、親子関係がうまくいけばいいなと思うんです。その辺を考慮しながらお預かりをしているのですが、1 人 1 人の子どもの中を考えますと、何かずしっと責任を感じるようになります。どういう風にしていったらいいのかな。と感じます。

それから、新しい認定こども園ですが、井尻野幼稚園と総社保育所ということで現場の職員としましては、昨年平成 27 年度、総社保育所、きよね認定こども園、市内の幼稚園の代表が集まりましてどういう形の認定こども園がいいだろうか、教育の中身は、職員組織は、施設は、どんなものがあるだろうか、昨年度話し合いました教育委員会へ提出しているかと思えます。そういう意見を取り入れていただいて、総社保育所の場所へなったのだと思えます。これからも現場の職員の意見を十分聞いていただきまして、子どものためにいい施設になりますようお願いしたいと思います。色々ありがとうございました。

#### 【服部委員】

もう、発言はやめようかと思ったのですが、山本さんからこのような内容の話がありました。保育所はみなさんご案内のとおりでございまして、朝早くから夜遅くまで親御さんが自分の子をどのような子に育てたいか、ということが一番を考えながら、親御さんに各職員が一人ずつ丁寧に聞いております。それで園が示したといいますか、国が一生懸命研究した保育所保育指針がありまして、それに沿って保育所は行っている。

だから、子どもをただ守（もり）しているだけという、昔のいわゆる農繁期の子守の保育所とはぜんぜん違います。認定こども園というのは保育園と幼稚園が一緒になって保育をやっている、また新たに、教育・保育要領ができあがりまして認定こども園をそれに沿った運用をしていくようにしている。だから決して親御さんに心配をかけないように、親御さんが抱いて 5 歳まで大きくするような感じで、毎日やっておりますので、どうぞ安心してお任せください。

#### 【近藤会長】

先ほど地域の人が孤立した親と子どもを支えみたいなお話があったんですけども、総社市では、家庭教育支援員制度を導入していないのでそういう制度も考えていったらいいのかなと思います。ほかに。

#### 【荒木委員】

親子クラブネットワーク代表の荒木です。今日は幼稚園のママにこれだけは絶対に言ってきてと頼まれましたので、具体的な話ですが1つだけ言わせていただきます。新本小学校への送迎バスをきちんと来年からは出してほしい。というのを訴えてくるよう頼まれました。

うちは総社大橋の向こう側で、この中心部とは違うのですが、子どももいない山田幼稚園というところに息子を通わせています。山田幼稚園は過疎なので3年前に英語特区にさせていただいて今、助けていただいています。山田幼稚園の現状は、19家庭中3家庭が生粋の山田っ子で16家庭は地区外から来ていただいてやっと保っています。来年も変わらず山田の子は3~4家庭で、あとは地区外の方がたくさん来ていただいているという現状です。同じで、新本小学校、新本幼稚園、昭和等も英語特区になっていますが、英語特区に最初に市がされた理由というのが移住を考えていたのか、常盤とか多いところを少ない所に流して人数の差を少しでも減らそうということが目的なのか、私たちにはわかりません。それが成功しているのは昭和だけかなと正直思っています。昭和が成功したのは、小学校が電車で通えるので昭和小学校には行きやすい。けれども新本小学校には今年の4月に新入生で入る地区外の1年生はおそらく3人の予定です。「新本小学校がせっかく英語音楽特区になったにもかかわらず、3名しか入らないと思います。その3名も私の息子が通っている山田幼稚園の年長さんが3人行く予定です。山田と新本はもともと交流があるのでその流れで新本に行く流れとなっています。その保護者から、「最初、市の方からバスを出せます。出します。と総社市内を回って、新本小学校に送るバスを出しますといわれて、じゃー行きますと言ったのに、ふたを開けてみるとバスが出せないことになりました。という電話がかかってきた。と。もう行くことに決めていたので、いまさら他の小学校には変えられないから、ぜひ来年からはバスをきちんと出してほしいと言ってほしい。」と、頼まれました。英語特区になって、うちはそこしか通っていないのですが、すごくいいと思っています。先ほど言われたようにどんな子どもに育てたいか。という中で、総社市は親が子どもに合う幼稚園や小学校を唯一選べる市だと思います。英語とか音楽とか体育とかせっかく選択肢があるのに、それがうまく機能していないというか、せっかくなのに来たくてもいけないのはすごくもったいないかなと思いました。例えば新しいのをつくるまでもなく雪舟くんで通園バスの感じで送ってあげるとか、そういうことができたらもっとも利用や、選びしろが増えるのかなと思います。山田幼稚園でも19家庭中16家庭は共働きですので、お迎えの半分以上が祖父母となっています。働いていないのは、もともと山田に住んでいるお母さんの3名だけです。他の16人のお母さんは働いていますので、お母さん方の中には、祖父母の力を借りても、少人数だとか英語が習える所に通わせたい、と思っているお母さんがとても多い、かならずいると思うのです。そういう人たちが保育所に流れるのではなく、働きながらも幼稚園に通えるようなことができればもう少し、待機児童とかの問題も、保育園ばかりにお願いをするのではなくて、幼稚園にも流れるような、幼稚園にも行けることができるようになったらいいのかなと思いました。

心の問題ですが、子どもの心はもちろんですけれども、母親とか父親の心の面も支えていただけたらなと思いました。それがうちの息子は発達障害と言われたんですけれども、私もそれを言われてとても育児が楽になりました。「あなたの息子は自閉症スペクトラムですよ」という診断を受けて、やっぱりそうだったのかと腑に落ちてすごく育児が楽になりました。療育に通い始めて療育の先生方にいろんなことを教えていただいて、すごく気が楽になったので、そういう育児に不安とか相談するほどでもないけど何か気になるお母さんたちの不安が、消えるようなことをする療育の先生はすごいなと思いました。そういう専門の知識をもたれた方が少し言っていただくような場が、そういう人たちの言葉が聞ける場があれば、救われるお母さんが多いのかなと。例えば、1歳半健診の場に療育の先生がいて、少しお話ができるとか会話をしてくれるとか、講話をしてくださるとか、小学校の説明会のときに、来ていただいて30分ぐらいお話をさせていただけるとかそういう機会があれば救われるお母さんが多いのではないかと思います。私は療育の先生に「子どもの悪いところは見ないでいいんです。いいところだけ引っ張ってあげれば悪いところなんて気になりませんから。」と言う一言で、「あ、そうなんだ」と思って息子の得意なところとか好きなものの所だけにフィーチャーして、どんどん引っ張ってあげると本当に息子のウロウロするところとかまったく気にならなくなりました。だからそういう機会があればいいなと思いました。あとは、夫を見ていて、お父さん（父親）は子育てが下手だなと思います。怒り方ひとつにしても「そういう言い方しなきゃいいのに、そこ怒るところじゃないのに。」とか思うことがあります。男の人が育児方法とか学ぶ機会とかあまりにも少ないと思います。育児書を読んで育児に接しているお父さんは少ないと思うので、お母さんは他のお母さんから情報をもったりとか勉強したりとか、幼稚園の送迎で他の子を見るので、5歳はこれぐらいかというのわかりますが、父親は家で自分の子の5歳しか知らないので、5歳が一番上で下に妹や弟がいたら、5歳でこれができなくて当然というところがわからなくなってくると思うので、父親がもっと育児について勉強できる場があると家庭がうまくいくのかなという気がするのでそういう企画とかあればぜひ参加したい、ぜひ参加してほしいと思います。色々ありがとうございました。

#### 【近藤会長】

貴重なご意見ありがとうございます。バスのことと、専門家による相談のことと、男性の育児参加に関することだったと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】

学校教育課の北川と申します。私から新本小のバスの件でございますが、ご意見ありがとうございます。これは非常にナイーブな問題ですので、部下に命じてこのように伝えると言うことを私から申し上げておりました。可能な限りバスを出したい。財政当局とも関わる問題ですので、うかつなことを絶対言うてはいけません。数が何人であればということ審査し

でもらうようになるので、乗りたいかどうかを聞き取る、その聞き取りをするときにも決定と言うことではないということだけはくれぐれも押さえて、意向を聞かせてくださいとお願いをしたところです。その結果がそういうことになってしまったので誤解をしてしまったということです。もちろんやっぱり財政の問題が絡みますので、今後も引き続き検討していくと言うスタンスですので検討させていただきます。

**【教育長】**

今後利用が増えればということですよ。

**【荒木委員】**

バスが出るから、行くんですよ。

**【教育長】**

それを、前も言ったんです。市のお金が足りないから優先順位があるんです。私たちも欲しいですよ。バスがあれば必ず乗りますから。それをやろうとするとなかなか大変です。そこはこれから財政と勝負です。私たちに予算権はないのですから。お願いするだけですよね。市の持っているお金をどのように有効に使うかと言う、その優先順位をどうするかという、教育委員会は財政当局に優先順位を上げていただくように対応しようと思っています。

**【近藤先生】**

こども課からはどうでしょうか？専門家による相談とか、男性の育児参加とか。

**【事務局】**

こども課のほうでは、乳児健診ではありませんが、1歳半健診とか3歳児健診には専門家の先生をお呼びしていますので、ぜひご利用していただきたいのと、いろんな相談があります。気になるおうちの方、いつでもこども課の方にお電話いただければ専門のスタッフがおりますので、相談に応じることができます。お父さんの子育てについては、今日来てくださっているあいあいさんとかつどの広場のほうで、お父さんの育児のメニューもたくさんご用意していますので、こちらもご利用いただければと思います。

**【近藤会長】**

よろしいでしょうか。他に。

**【福光委員】**

子育てこっこの福光です。広場でよく言われているのが、育休を1年取りたいけど保育園に入れるかどうかわからない。入れないから、6ヶ月とか早く4月には預けるようにしたという声を良く聞く。途中入園でも安心して、育休を1年取ってから保育園に行くような環境

づくりができたらいいなと思います。もう1点ですが、私も昔保育士をしていたんですが、保育園のお友達もたくさんいるので、「保育園どう？」って聞くと、何がネックかというところ、指導案、月案、週案、日案、個人案その書類が面倒だ。という声で、「子どもはかわいくて、子どもとちゃんと向き合って一緒に遊びたいんだけど、そこがネックなんだよね。」というのをよく聞くので、そういうところを、もっと子どもと向き合える時間を大切にして作り物とかを一生懸命するんじゃなくて、何かいい方法があればいいのかなとちょっと思いました。

#### 【近藤会長】

ありがとうございます。今のことについて何かありますでしょうか？1年間育休を取りたい人が1年間取れるようにというようなこと、結構重要かと思いますが。

#### 【事務局】

育休につきましては、12月の申し込みのときに育休があけることがわかっている場合は、事前に申請書に書いていただいています。その後とか途中とかに育休があけると言う方については現在待機児童が出ている状態でありまして、なかなか入ることができない。おっしゃったとおりの状況で、それをどうしていくかというこれからの課題であり、育休を取られる方も計画的に、どういう風にとっていくかというのがありますけれども、どういう方法があるのかということも色々考えてまいりたいと思います。他市を参考にしながら、総社市では育休退園はなくすようにしましたけれども、新しいお子さんが生まれた後の育休についてというのはそういうこともございますので、いろいろ考えさせていただきます。ありがとうございました。

#### 【近藤会長】

もっと早くから予約できるような感じになれば、いいですね。

#### 【事務局】

生まれる前から、保育園の申し込みはできるんです。そういうことを知らない方もいらっしゃるのではないかと思いますので、その辺の広報もあわせて、今回、母子手帳を取りに来られた時、また赤ちゃん訪問の時に、保育園の入所申込の時期の説明をさせていただくようにしました。そういう風な広報も必要だと思っております。ありがとうございます。

#### 【近藤会長】

他に？

#### 【中島委員】

保育サポートあいあいの中島です。こども課が担当してくださっているファミリーサポートセンターをさせていただいております。去年ファミリーサポートセンターのサポーターの養成講座保育サービス講習会女性労働協会が認めている30時間ほどの講習会に、地域型保育事業の保育園から3件問い合わせがありました。臨時の保育士を雇いたい。保育士資格は持っているけれども、長い間保育の現場から離れていたのです、その講座を受けさせてもらえないかという問い合わせでした。1人は全部の講座を受けなくても希望の講座を受けられるようにしていたので、希望型の講座を受けられたのですが、実は講師の先生方から、これは誰でも受けられる講座でなくて、絶対に支援者であるとわかっている人でないと、受けてもらいと色々問題が起こるといって講座も受けたいといわれた。目的はこの地域の地域型保育所に勤めるためといわれたので、こども課とも相談していただいて、費用はファミリーサポートセンターのサポーターを養成するために出ている費用を地域型保育事業の保育士さんのために使うと言うのはどうなのかなと思って、自費で受けただけの講座だけを受けていただきました。そしたら今日ここに、「保育士資格があり保育士等で就労していないものの就職相談と再就職希望者の潜在保育士を対象に職場復帰のための保育実技研修実習の受け入れ」という項目があがっていました。ぜひ来年度からこども課からいただいているファミリーサポートセンター事業の委託事業の中で行っている保育サービス講習会なので、こういう再就職希望の潜在保育士の方のために使えるように、教育委員会こども夢づくり課と協働していただいて、その講座を受けたら長いこと保育の現場から離れていたけれども臨時の保育士ぐらいになら安心して戻っていただける、というようなシステムができればいいなと思いました。実習も総社保育所でさせていただいておりますし、それにぜひ行きたいといわれたんですけども、総社保育所と相談したときに、ファミリーサポートセンターのサポーターさん向けなので、と言う感じもあったので、去年はお断りをしたんです。市のほうから講師の先生も来ていただいているし、小児科の先生も来ていただいていますし、幼稚園の先生にも来ていただいて全国1の講座と言われておりますので、ぜひファミサポの養成講座をぜひ使っていただけたらと思います発言させていただきました。

**【近藤会長】**

いかがでしょうか。

**【事務局】**

ありがとうございます。ワンフロア化になってこども課とこども夢づくり課が隣になっておりますので、これからそういう情報も一緒に考えながら、良い子育てができる環境を作っていきたいと思います。

**【近藤会長】**

他にいかがでしょうか



### 【角田委員】

前は前任者の主任児童委員が出席させていただいておりました。民生委員の改選になり私が参加することになりました。いろんな意見が出て、すばらしいなと思いました。山本さんが言われたようにみなさん肩書きがありますが、私にもありません。何にもありません。でもこういう総社市の会議に出させていただくということは総社市を知るということになります。私も色々な会議に出させていただきましたけれども、全部出て「こういう風につながるんだな。」といくらわかるようになりましたし、私は役柄上、市内の幼稚園、小学校、中学校など全部回らせていただきますけれども、幼稚園と保育園は完全に違いますので、保育のシステムが違いますので、幼稚園には幼稚園のいいところがありますし、保育園には保育園のいいところがあると思います。基本は親が育てるのが一番いいのではないかと、私も何人か育ててきて思います。学校現場に出させていただいて、親と子どものもつれたものが解けたら解決するかな、というようなこともたくさん感じさせていただきました。そして、こういう風な会議に出ると、いろんな方がおられますし、いろんな方向とか場面とかあります。山本さんが、今日気が付いたことは、すごく良いことだと思いますし、前進だと思いますし、そういうことを発表できたという勇気がすごいなと思いました。こういう彼女たちがこれからの総社を支えてくださるのではないかと思います。私はすごく将来有望な方がおられて、すばらしいなと感じました。こういうところで、いろんなことをフォローさせていただいて、行政は行政のほうで一生懸命やったださっていますし、学校は学校で先生方の、私はふつうの先生方の状況を見させていただくので、みなさんの目に届かないような先生たちの努力を見させていただけました。また、どうかと思うところを見せていただいたところもあります。でも、人がやはりそれぞれが「気づき」と言うのが大切ではないのかなと思いますので、こういう会議を有意義に進めて行って良い地域にさせていただけたらよいのではないかと思います。私は今日始めてこの会議に出席させていただいて、有意義な時間を過ごさせていただいたように感じました。ありがとうございました。

### 【近藤会長】

貴重なご意見をありがとうございました。総社に暮らしていて子どもたちのことを知っている方がやっぱり声を上げてもらうというのが一番いいと思いますので、今後どうぞよろしくをお願いします。

### 【矢吹委員】

放課後児童クラブ代表で北ゆうあいクラブの運営委員長の矢吹です。よろしく申し上げます。放課後児童クラブでここにいるのは私一人ですので、さっきまでずっと幼稚園の関係とか保育園の関係とか色々なご意見がありました。放課後児童クラブもまったく同じ内容でして、子どもたちを預かる時間がちょっと少ないという部分もありますが、中身はまっ

たく同じで資料の18ページにありますけれども、まったく内容は幼稚園保育園と同じです。なので放課後児童クラブのほうもよろしくお願ひしたいと思います。支援員の処遇問題も書かれてありましたが、先ほど山本さん荒木さんのご意見を聞かせてもらった中で、支援員、我々運営委員会、運営委員長以下、先ほどのような内容を、いかに子どもたちが有意義な時間を過ごせるかということを考えております。しかしながら、放課後児童クラブは総社市には14クラブあります。横の連絡が確実にはできておりませんので、細かいところまでの意見交換・意思疎通ができていないところもあると思います。私ところのクラブには保護者会がありまして、保護者の方と色々意見交換をする場を持っております。そういった形からいって親御さんがどのような思いをされているのか、先ほど服部委員から保育園もそうしておりますといわれておりましたが、すべてのクラブができていのかどうかはわかりませんが、私も確認ができておりませんのでそのような形で進めていけたらと思っております。昨日テレビで岡山の放課後児童クラブ・・・学童とっておりましたが、いろいろな放送されておりましたが保護者の方が、家でできないことをクラブでやって欲しいと、家で親が子どもにしてやれないことを子どもにして欲しい、というような要望を言っておられました。子どもたちは親が大きくなるのが一番かと思いますが、そういう期待があるということをおもいました。山本さんの発言を聞いて、ますます思いが強くなりましたので、がんばっていこうと思ひます。みなさんよろしくお願ひします。

#### 【近藤会長】

時間がだいぶ過ぎてしまっておりますが他に。

そうしましたら、その他としてこの会にお伝えしたいことがありますか。

#### 【服部委員】

通学路の安全についておたずねしたいと思ひます。総社小学校が建て替えを計画しておりますが、国道180号と県道総社足守線の十字路、小学校の180号の十字路ですが、ものすごい朝晩の交通が。中学校の通学路と小学校の通学路その他の通勤通学一般生活者の交通が頻りに往来しますが県道のほうに溜まりがない。ですからずっと吉備線まで続いて吉備線をはるかに越して刑部の方まで続くようなことが出てくるわけです。小学校建て替えに入りますと、とても大変なことになると言う気がしますので、どうせ市役所は何をするにしても3年はかかりますので、今からお願ひ申し上げておきます。

#### 【近藤会長】

他にございますか？

なければ林副会長に閉会の挨拶をお願ひします。

#### 【林副会長】

今日はお忙しい中をありがとうございました。この子ども子育て会議にずっと出させていただいておりますが、最初は待機児童の問題が中心になっていたんですけれども、そのうち今日あたりから徐々にそれをどういった風に運営していくのか、また質はどうかというところに内容が移行してきたように思います。それはやはり今までも、増員をしてくださったり新設をしてくださったり、保育所の方の努力もあるかと思ひますし、行政も牽引をしっかりしていただいた成果かなと思ひます。質のほうですこし考えてみて欲しいですけども、やはり子ども子育て支援の質というものを考えて見ますと、どういう状態が一番いいのかということを考えてみたときに、保育所、幼稚園、小学校、中学校それから放課後児童クラブが一体となって、こういう風な子どもたちに育てようというものが必要ではないかと思ひますので、そういった輪の中へどんどん関係者を入れていくことが必要ではないかと思ひております。二つ目は保育所の選択方法もあろうかと思ひます。ワンストップ化に思い切ってやってくさっておりますので、それを利用しない手はないと思ひますし、さらに、コンシェルジュといひますか、保育のコンシェルジュを置くようになっておりますが、保育士を新規開拓というばかりではなく、保育に悩む、私は保育に関してこういう希望を持っているんですがどういふ風にしたらいいんだらう、という保育の相談窓口としてのコンシェルジュを充実することも必要ではないかと思ひました。さらには、臨時職員の待遇改善、待遇の質を変えるというのもあろうかと思ひます。これは財政当局との絡みもありますが、今聞くとかなり低いのかなと思ひますし、私の大学も保育士の養成機関でございます。そういった中で、学生たちの中には「給料が低い」と言う学生も結構いて、別のところに就職するということもあります。そういうところも含めて、待遇の質を考えていただけたらこれからスムーズに回っていくのではないかと思ひています。子どもに関わる人たちが一同に会して情報共有して明日からの行動をしていただければ総社市はとても住みやすい、子育て王国にふさわしい市になるのではないかと思ひます。これからもよろしくお願ひします。